



# 『 EM 菌を使った環境教育 』

平成 22 年 東大阪市豊かな環境創造基金活用事業



東大阪市立花園北小学校 PTA

## 1, 目的

自分たちの身近なものを通して、環境について考え、学習したことを学校だけでなく家庭でも活用したり、改善したりしようと努める。

- ・日常生活の中でできる廃棄物の量を知り、ゴミの減少や活用について考える。
- ・町を流れる玉川の様子を知り、きれいにしようと努める。

EM ぼかし作り

## 2, 活動

EM 菌を使ってぼかしを作り、生ゴミを堆肥として再利用する。  
EM 菌を使ってだんごを作り、玉川に流して水の浄化をはかる。



## 3, 活動効果

- ・4年社会科「私たちのくらしとゴミ」を学習し、ゴミ収集の大変さやゴミ焼却にかかる費用の多さに児童は驚いた。廃棄物を EM 堆肥に変えることで、ゴミが減少した。
- ・EM だんごを玉川だけでなく、学校プールにも入れて、水が浄化する様子を知った。
- ・EM 薄め液をトイレや棚拭きに使い、洗剤に頼らない掃除方法を学んだ。
- ・生ゴミ堆肥に多くのミミズが集まることから EM 菌が、環境によいことがわかった。
- ・微生物の働きでものが分解することで、自分たちの生活に関わっていることがわかった。
- ・無駄を減らし、環境を進んで改善しようと学校だけでなく家庭でも努力した。

EM だんご作り

## 4, 今後の取り組み

- ・生ゴミ堆肥や EM だんご等の利用は、今後も学校で継続して取り組み、4年生だけでなく、全校児童が環境について関心をもつ。
- ・生物多様性と自分たちの関係を考える。
- ・地域の環境改善についての意識を高める。



給食の残りを堆肥に



落ち葉も堆肥に



EM 薄め液をトイレに



EM だんごをプールと玉川に入れる



生ゴミ堆肥を使って植栽

